

平成30年度
理学部生物圏環境科学科
帰国生徒入試

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は、問題用紙が1枚、解答用紙が1枚、下書き用紙が1枚である。試験開始の合図があってから確認すること。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、落丁および解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入すること。
指定された解答欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 5 解答用紙以外は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
29.11.29
富山大学

(下 書 き 用 紙)

平成30年度 理学部生物圏環境科学科 帰国生徒入試
問題用紙

問. 富山県の代表的な観光地である立山には、毎年約100万人の登山者や観光客が訪れています。それによってどのような自然破壊が起こっているか、あるいは今後起こることが予想されるか述べなさい。また、そのような自然破壊が起こる理由についても詳しく述べなさい。

平成30年度 理学部生物圏環境科学科 帰国生徒入試

解答用紙

科目	小論文
----	-----

受験番号					

総点

解答欄

--